

施策マネジメントシート ～平成30年度の振り返りから2019年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）（5月中に記入）

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野	ひと分野	担当課		教委総務課・学校教育課			
	政策分野	子育て・教育	課長名		吉田孝一・内健史			
	施策	15 学校教育の充実		重点施策の該当	H30		2019	○
施策の目的	対象	児童、生徒、保護者、教職員		意図	これからの社会を担い、自らの未来をたくましく切り拓く「ひとりだち」の力を備えた児童生徒を育成する			

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)				最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
鹿児島学習定着度調査における「基礎・基本」分野の通過率が80%を超えた教科数(小学校全40教科)(ポイント)	16	16	12 (40)	40	40	40
鹿児島学習定着度調査における「基礎・基本」分野の通過率が70%を超えた教科数(中学校全10教科)(ポイント)	2	0	3 (10)	10	10	10
不登校(年間30日以上欠席)の小・中学校児童・生徒数の全体における割合(%)	1.89	1.60	1.56 (0.00)	0.00	0.00	0.00
体力・運動能力調査(小5・中2男女別全34種目)で県平均を上回った種目数(ポイント)	28	24	22 (31)	32	33	34

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
86.0	37.5	88.0	38.0						
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
84.3	20.9	87.2	20.2						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)				最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進	9-21・22,10-25	鹿児島学習定着度調査における「基礎・基本」分野の通過率が80%を超えた教科数(小学校全40教科)(ポイント)	16	16	12 (40)	40	40	40
自ら学び自立する力をはぐくむ教育の推進		鹿児島学習定着度調査における「基礎・基本」分野の通過率が70%を超えた教科数(中学校全10教科)(ポイント)	2	0	3 (10)	10	10	10
規範意識を養い、豊かな心をはぐくむ教育の推進	9-21・22	不登校(年間30日以上欠席)の小・中学校児童・生徒数の全体における割合(%)	1.89	1.60	1.56 (0.00)	0.00	0.00	0.00
健やかな体をはぐくむ教育の推進	9-21・22	体力・運動能力調査(小5・中2男女別全34種目)で県平均を上回った種目数(ポイント)	28	24	22 (31)	32	33	34
健やかな体をはぐくむ教育の推進		小学生DMF指数(過去にむし歯になったことがある数値)(ポイント)	2.0	2.0	1.5 (1.6)	1.4	1.2	1.0
健やかな体をはぐくむ教育の推進		中学生DMF指数(過去にむし歯になったことがある数値)(ポイント)	2.1	2.1	1.6 (1.8)	1.6	1.4	1.2
教育環境の整備・充実	9-21・23,10-25	長寿命化計画による整備率(%)	-	-	-	-	-	10.0
教育環境の整備・充実		奨学金の新規貸付を受けられた者の数(人)	3	1	8 (15)	13 (15)	15	15

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
[学校教育課] 基本事業No.50・51・52	・小学校11校のうち、休校1校、複式学級を有する学校が8校となっており、児童数の減少が続いている。中学校は、平成21年に統合され1校体制となっている。新学習指導要領の完全実施が予定されている。(小:H32～、中:H33～)。
[教委総務課] 基本事業No.53	・給食費の無償化を求める声があった。 ・学校施設の老朽化に対し改善が必要な施設が多数存在する。 ・種子島中学校のプールのかさ上げ工事を予定していたが、施設そのものの老朽化が著しい状況であることが判明した。 ・種子島中学校の中学校舎(1年生教室)は風通しが悪く、空調設備の設置が急がれた。 ・榕城小学校のグラウンドについては、土の入れ替えを行ったが未だ状態が改善されない。

施策マネジメントシート ～平成30年度の振り返りから2019年度の取組へ～

施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題		
	成果	現状・課題
[学校教育課] 基本事業No.50・51・52	・不登校生徒への学校の積極的なかわりや関係機関との連携により、確実に不登校生徒は減少している。 ・鹿児島学習定着度調査においては、前年度に比べて県平均を超える教科が小・中ともに大幅に増え、学力の向上において一定の成果が見られた。	・基礎的・基本的な事項の定着や活用力の育成等の確かな学力の定着に引き続き取り組む必要がある。 ・複式学級においてはグループ学習や、様々な相手と意見を交換したり、多様なものの見方や考え方に触れたりする機会が限られるという危惧がある。
[教委総務課] 基本事業No.53	・西之表市に住所を有し義務教育期間中の子を2人以上養育している世帯で、第2子以降の児童生徒の給食費の無償化を実施した。 ・施設改修を計画的に進めるため、長寿命化計画策定を令和元年度に実施するよう準備を行った。 種子島中学校のプールのかさ上げ工事を中断し、計画を見直し令和元年度以降新設する方向で進めることとした。 ・種子島中学校の中学校舎(1年生教室)の空調設備の設置を令和元年度から利用可能となるよう前倒しで準備を行った。 ・榕城小学校のグラウンドについては、令和元年度に排水関連設備も含んだ工事を行うよう見直すこととした。	・学校関連施設は全体的に老朽化が進み、長寿命化計画を基に改修する必要がある。また、各学校の普通教室への空調設備設置を行う必要がある。 ・併せて、教職員住宅の老朽化に伴う修繕要望が増加していることから計画的な改修が必要である。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)	
継続・現状維持	[学校教育課] 基本事業No.50・51・52	・各校の実態に応じた数値目標及び具体策設定のため「指導・助言」、実現のための「指導・支援」を行い、評価と改善を継続していく必要がある。 ・上記目標達成のための教員の研修機会、小規模校を多く抱える本市課題の解決に向け、ICT環境の充実について予算の確保等を計画的に進める必要がある。
拡大・充実	[教委総務課] 基本事業No.53	・現状と課題を踏まえ、今後計画に沿って長期的に改修事業を実施していく必要がある。

②-2 政策部会による振り返り(Check) (6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	・学校教育課においては、施策担当課が記載する方向性のとおりで継続しながら現状を維持していく事としているが、総務課においては学校施設の長寿命化計画に基づき老朽化した施設及び設備を今後進めていく必要があることから本施策について部会としては予算や事業範囲を拡大しながら充実を図っていく方向で確認した。